

仕事を、続きから進める。

チームの記憶をもとに、あなたの仕事を支えるAIアシスタント

背景を理解し、メール対応・日程調整・資料作成へ。

クリエイター・所属事務所の皆さまへ
ご紹介・コラボレーションのご案内

本資料の概要

AIアシスタントと、実際の仕事を続きから進める体験をご紹介します。ご相談です。

TANKAは、仕事を続きから進めるAIアシスタントです。

チームの記憶をもとに背景を理解し、メール対応・日程調整・資料作成まで支えます。

ご相談目的	ご自身の仕事をAIアシスタントに頼み、 チームの記憶を生かして、どの仕事が進んだかを伝えていただくこと。
ご提供する体験	有料プランを1か月間無料でご利用いただけます。
企画・実施時期	日本ローンチ後の製品レビュー・活用紹介をご相談します。 公開日は、体験・制作の進み具合に合わせて個別に調整します。
報酬・お支払い	制作内容に応じて個別にご相談し、開始前に合意します。

体験プラン・利用枠・開始日などの詳細は、担当窓口よりご案内します。

日本上陸記者発表会を開催

2026年9月28日、東京・表参道にて、日本での展開を発表しました。

2026

09.28

TANKA.ai
日本上陸記者発表会

東京・表参道

日本語・日本の業務環境に合わせた展開

東京を拠点に、日本語の使いやすさの改善と導入・活用サポートに取り組めます。

Founding 100 プログラム

日本で活動する100チームを対象にした導入支援を発表。
熊本県内の地震被災企業10社への無償支援枠も設けました。

[Founding 100 の詳細](#)

関連発表：スマート録音リング MemoRing との協業。発売は2027年1月予定。

[日本語の正式リリース・発表会写真を見る \(2026年9月30日公開\)](#)

日本語公式プレスリリース

日本上陸の発表内容を、公開済みの正式原文でご確認いただけます。

@Press | 2026.09.30 12:00 JST | 発表元: TANKA Japan

チームの情報を記憶するAIアシスタント「TANKA」、 日本展開と100チーム向け支援を発表

熊本県内の地震被災企業10社には6か月間無償提供



日本語原文

原文で確認できる主な内容

- 製品の特長** メール・チャット・会議の記録をつなぎ、過去の約束や変更を仕事に生かす。
- 日本での展開** 日本語対応、国内の業務ツールとの連携、導入・活用のサポート。
- 導入支援** Founding 100、熊本の被災企業10社への無償支援、MemoRingとの協業。

[日本語の正式リリースを読む](#)

www.atpress.ne.jp/news/636677

日本メディアでの掲載・紹介

発表会レポートからAIエージェントの動向まで、複数の視点で紹介されています。

Impress Watch

[記事を読む](#)

2026.10.06 | 業界動向の解説

西田宗千佳のイマトミライ

常時動作型AIエージェントの解説記事で、チームで使うサービスとしてTANKAに言及。

ゴリミー

[記事を読む](#)

2026.09.28 | 発表会レポート

フリーランス・小規模チームの視点

連絡や進捗確認の負担を切り口に、「誰と何を約束したか」を記憶する仕組みを紹介。

DouBt (Mac Fan)

[記事を読む](#)

2026.09.28 | 発表会レポート

個人のAI活用から、組織の知識活用へ

チームの記憶を蓄積・活用し、業務の経緯や判断の背景を引き継ぐ発想を紹介。

Gadgetouch

[記事を読む](#)

2026.09.28 | 発表会レポート

チームの記憶を持つAIアシスタント

日本向けの展開、ローカライズ、小さなチームでの活用に向けた説明を掲載。

記事内容を要約して紹介しています。媒体による推薦・性能保証を示すものではありません。
正式プレスリリースと、その転載記事とは区別して掲載しています。

米国主要メディアでの掲載

日本上陸の英文プレスリリースが、米国のメディア・情報サイトに掲載されています。

Yahoo Finance

2026.09.28 | PR Newswire配信

プレスリリース転載

日本市場での展開と、
チームの長期記憶を紹介。

finance.yahoo.com

[掲載ページを読む](#)



Morningstar

2026.09.28 | PR Newswire配信

プレスリリース転載

Founding 100や日本語対応を含む
日本上陸の正式発表を掲載。

morningstar.com

[掲載ページを読む](#)



AOL

2026.09.28 | PR Newswire配信

プレスリリース転載

日本上陸、現地サポート、
連携サービスなどの発表を掲載。

aol.com

[掲載ページを読む](#)



英文公式プレスリリース | PR Newswire | 2026.09.28

TANKA.ai Launches in Japan, Bringing Team Memory to Everyday Work

[英文原文を読む](#)

いずれもPR Newswire配信のプレスリリース転載です。編集部による独立取材・推薦を示すものではありません。

YouTubeでの紹介事例

公開動画を、ご紹介の切り口やコンテンツ形式の参考としてご覧いただけます。

戸田 覚さん

戸田覚: ガジェット【辛口】点数評価

製品紹介・レビュー

2026.09.29

メールやTeamsなど、
さまざまなツールと連携する
TANKAのレビュー



TANKAを題材とした紹介・レビュー動画です。
製品を取り上げるコンテンツの参考として。

[YouTubeで見る](#)

池田 朋弘さん（いけとも）

いけともch

番組内スポンサード紹介

2026.10.04

注目AIニュース16選
AIエージェントが
常駐する世界へ



AIニュース動画での紹介事例です。
概要欄にTANKAのスポンサード表記があります。

[YouTubeで見る](#)

見出しは内容を示すための短縮表記です。評価の抜粋・再生数は掲載していません。

本資料での紹介は、動画・サムネイル・肖像の転載許諾を意味しません。

背景がわかる。だから、仕事を先へ進める。

チームの記憶は、AIアシスタントが仕事を続きから進めるための土台です。

必要なのは、覚えていることだけではなく、 その背景を踏まえて、仕事を進めること。

チームの会話・約束・判断をもとに、AIアシスタントが次の対応を進めます。
メール送信・返信、日程調整、提案書作成。進捗や結果を確かめ、次の依頼へ。

チームの記憶

会話・約束・判断が土台に



背景を理解

経緯と今の条件を踏まえる



仕事を進める

依頼・確認・実行・次の対応

「何を覚えているか」から、「その背景をもとに何を進められるか」へ。

Dots · Grok Bot と、TANKA の着眼点

仕事を進めるAIという共通点の中で、何を起点に価値を伝えるかを整理します。

Dots

ユーザーの継続業務

**自分を理解するAIに、
続きの仕事を任せる。**

会話・記憶・連携アプリの文脈を使い、
ユーザーの目標に沿って、
継続する仕事を進める。

TANKA

チームの文脈を生かす業務支援

**チームの背景から、
あなたの仕事を進める。**

会話・約束・判断・変更を土台に、
メール対応・日程調整・資料作成へ。
チームの次の対応にもつなげる。

Grok Bot

仕事ごとのAIワーカー

**仕事ごとのAIに、
実務を分担して任せる。**

複数のBotがツールやアプリを使い、
仕事を分担・連携しながら、
完了まで進める。

TANKAが伝えるのは、チームの経緯を理解するAIアシスタントと、仕事を続きから進める価値。

Dotsにも組織向け展開、Grok Botにも記憶・Bot間協働があります。上記は主な訴求の整理で、機能の独占や優劣を示すものではありません。

[出典: Dots 公式ヘルプ](#)

[Dots 公式案内 \(法人での利用\)](#)

[Grok Bot 公式資料](#)

[TANKA 紹介資料](#)

整理: TANKA JAPAN

一人の仕事を支え、その力をチームへ。

陳天橋氏のLinkedIn投稿に示された、TANKAのチームへの考え方。

一人ひとりの仕事を理解するAI。 その力を、チームの仕事へ。

その人の仕事・記憶・文脈を理解するAIが、その人を支える。
そして、適切な権限のもとでAI同士も協働し、
人と人の間に背景をつなぐ。
人を置き換えるのではなく、今いるチームの力を高める。

10 PEOPLE + 10 AGENTS

20人の働き手ではなく

**より強い10人と、
もっと強い1チームへ。**

“Ten people with ten agents should not become twenty workers.
They should become ten stronger people and one much stronger team.”

出典：陳天橋氏のLinkedIn投稿（提供画像）。日本語は要旨訳。人数表現とAI間協働は考え方の説明であり、実測効果・機能の実証ではありません。

AIアシスタントと仕事を続きから進める

チームの記憶をつくるだけでなく、依頼・確認・実行・次の対応までつなげます。

01 仕事の情報をつなぐ

メール・チャット・会議をつなぎ、チームの記憶を仕事の土台に。

02 続きの仕事を頼む

「前回の提案を踏まえて、次のメールを送って」と依頼。

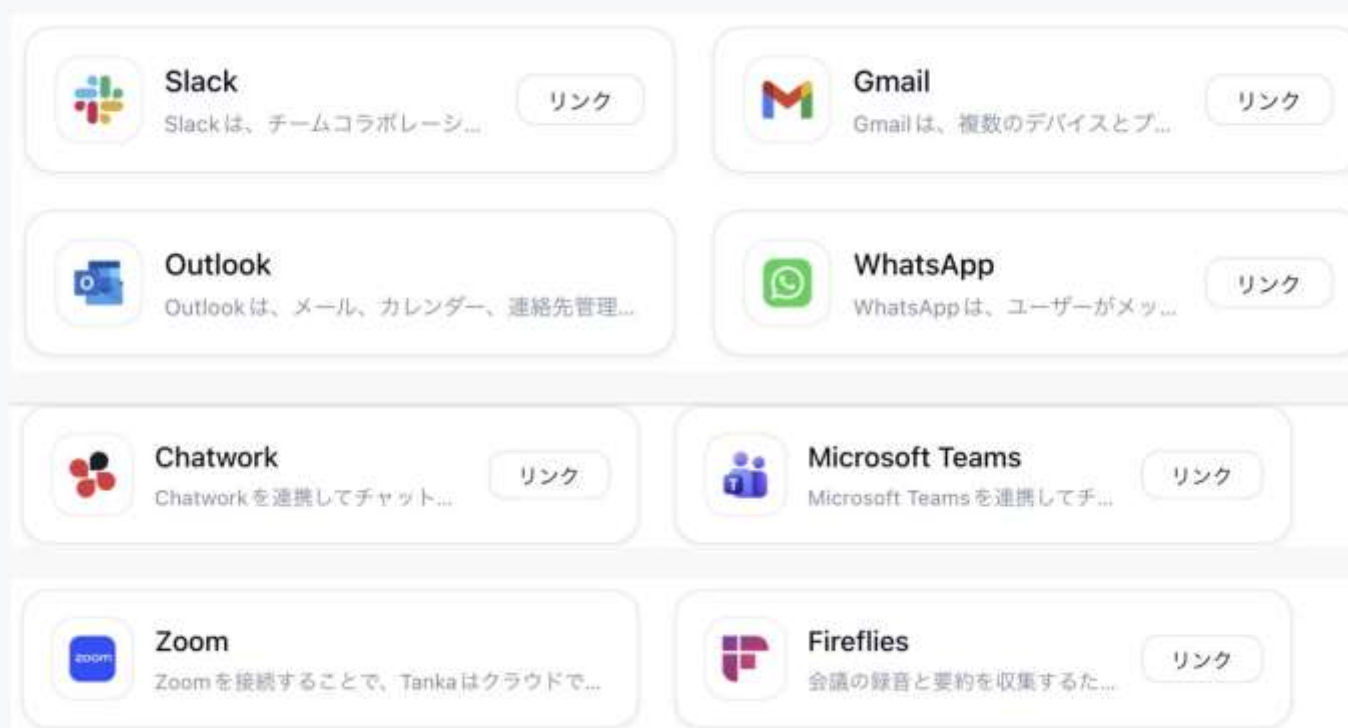
03 背景を踏まえて実行

経緯・条件を反映し、必要な確認を経て実行します。

04 結果を確かめ、次へ

Flowで進捗・過程を確認。
新しい情報を、次の依頼へ。

連携画面の一部



2026年9月11日時点の画面。実際の表示は更新される場合があります。

対象データや実行できる操作は、連携先・権限によって異なります。

仕事を進めるための「チームの記憶」

関係性・時間の流れ・重要性を結びつけ、AIアシスタントが次の仕事に生かします。

仕事を支える記憶	AIアシスタントの仕事にどう生きるか
関係性	誰が、どの案件で、何を約束したか。 相手との経緯を踏まえたメール対応へ。
時間の流れ	いつ何が決まり、その後どう変わったか。 変更の経緯を、次の提案や資料に反映。
重要性	何を優先し、次の仕事で何を押さえるべきか。 大切な条件を、次の依頼や対応の準備に生かす。

新しいメール・対話・議事録が加わり、記憶も更新。
AIアシスタントはその背景を踏まえ、仕事の続きを支えます。

TANKAという名前に込めた思い

本当に大切な経験を、未来の仕事へ。

三十一音に、想いと記憶を込める。

TANKAという名前は、日本の伝統的な詩歌「短歌」に着想を得ています。限られた言葉の中に、大切な感情や経験を残す。その姿勢に惹かれました。

仕事の中にある、意図・判断・関係・経験。

なぜその判断に至ったのか。誰にとって大切だったのか。TANKAのAIアシスタントは、その背景をチームの記憶から受け継ぎ、新しい経験も踏まえながら、次の仕事を一緒に進めます。

チームの記憶を土台に、仕事を前へ進めるAIアシスタント。それがTANKAです。

会話の続きから、提案・送信・返信まで。

同じ案件の背景を引き継ぎ、AIアシスタントと仕事を進める流れをご紹介します。

01 決定を確かめる

「A社の提案方針について、Slackで決まったことを探して」

重要な決定とその経緯を整理し、次に提案するための前提をそろえます。

02 提案書をつくる

「メール・Slack・議事録を踏まえて、A社への提案書をつくって」

顧客の要望・決定事項を反映し、背景に沿った提案書を作成します。

03 メールを送る

「前回のやり取りを踏まえて、A社に提案を伝えるメールを送って」

相手との経緯を踏まえて文面を作成し、内容を確認してから送信します。

04 返信を進める

「新しく届いた相談に、これまでの決定を踏まえて返信して」

新しい相談と既存の合意を踏まえて返信案を作り、確認後に送信します。

他の人に影響する操作や取り消せない操作は、確認カードで内容を確認してから実行します。

体験用の依頼例です。実際に利用できた範囲をご紹介します。参照情報・実行操作は、連携先・権限により異なります。

伝えてほしいのは、「仕事が進んだか」

「何を覚えているか」ではなく、「記憶を生かして、どの仕事が進んだか」を主役に。

01 AIアシスタントに、何の仕事を頼んだか

メール対応、日程調整、提案書作成など、実際の業務をひとつ選んでください。
機能一覧ではなく、「どこからどこまで進めたいか」を最初に示します。

02 チームの記憶が、その仕事にどう生きたか

過去の約束・決定・変更が、今回の返信や資料にどう反映されたか。
記憶そのものではなく、背景を踏まえて仕事を進められる価値を伝えます。

03 確認・実行によって、何が進んだか

AIへの依頼、必要な確認、送信・返信・資料作成の結果までお見せください。
情報が見つかったところで終わらず、実際に進んだ仕事を具体的に紹介します。

04 続きの仕事へ。チームで試す場合は、その先へ

新しい情報を踏まえ、次の返信・提案・対応をどう進めたかをご紹介します。
チームで試した場合は、その成果が誰の次の仕事につながったかもお伝えください。

実際に感じた変化や期待との違いを、ご自身の言葉でお伝えください。

ご相談したい2つの発信

実際の業務で、AIアシスタントが仕事をどう前へ進めたかをご紹介します。

01 製品レビュー

仕事を頼み、 結果と次の一手まで。

ひとつの業務で、依頼・確認・実行の流れを紹介。
メールや提案書など、実際の結果をお見せください。
チームの記憶がどう役立ったかを添え、
チームで試す場合は、次の担当者へのつながりも。

YouTube / note / ブログなど

02 活用・ニュース紹介

短い紹介でも、 仕事が進む場面を。

Xや短尺動画では、ひとつの仕事に絞って紹介。
過去の背景 → 今回の依頼 → 実行結果を軸に。
AIニュース内での紹介や継続レポートも、
視聴者の関心に合わせてご相談します。

X / Shorts / Reels / 番組内紹介など

媒体・本数・尺・具体的な公開日は、体験・制作の進み具合に合わせて個別にご相談します。

ご依頼内容・ご相談条件

貴メディアの発信スタイルとご意向を伺いながら、個別にご相談いたします。

項目	ご相談内容
投稿内容・日程	製品レビュー・活用紹介の内容を個別にご相談。 投稿形式・本数、媒体・尺・公開日は事前に合意します。
製品体験	有料プランを1か月間無料でご利用いただけます。 開始日・対象プラン・利用枠・利用方法は担当窓口よりご案内します。
報酬・お支払い	対応範囲・制作内容に応じて個別にご相談。 金額、お支払い方法・期日を事前に合意します。
確認・変更・中止	確認範囲・回数・期限、日程変更や中止時の扱いを、 制作開始前にご相談します。
二次利用・広告配信	公式サイト・SNSへの転載や広告利用は、 媒体・期間・編集範囲・費用を別途ご相談します。

実際の使用感と率直なご意見を大切にします。

制作・公開までの流れ

製品体験からコンテンツ公開へ。各段階の内容と日程をすり合わせて進めます。

工程	主な内容
01 企画・条件のすり合わせ	内容・本数・日程・報酬・提供条件、利用する素材を確認
02 素材・体験の準備	公式素材・製品体験アカウント・利用方法をご案内
03 ご自身の仕事で体験	同じ案件の背景を踏まえて、依頼・確認・実行を試す
04 制作・事実確認	仕事の進展と記憶の役割を紹介し、事実関係・PR表記を確認
05 コンテンツ公開	合意した日程で公開。URLと合意した範囲の反応を共有

**ご本人の感想・評価を尊重し、
合意した範囲で事実関係を中心に確認します。**

運営情報・お問い合わせ

企画のご希望や実施時期について、下記窓口までお気軽にご相談ください。

開発・運営	TANKA, Inc.
日本窓口	MoreClick株式会社
メール	info@more-click.co
日本公式サイト	jp.tanka.ai



日本公式サイト

ご返信の際にお知らせいただきたいこと

ご関心のある企画、実施可能な時期、媒体資料・料金表など。
内容を拝見し、具体的な進め方をご相談させていただきます。

製品についてのよくあるご質問

具体的な体験内容は、ご利用の業務・連携先に合わせてご相談します。

ご質問	ご案内
情報をどう仕事に生かしますか？	TANKA内や連携先の情報を横断して検索し、経緯を踏まえたメール対応や提案書の作成につなげます。
会議記録はどこから？	録音・文字起こしはZoomやFirefliesなどの連携先で行います。同期された会議記録・要約を検索し、その後の仕事に活用します。
継続する仕事も頼めますか？	個別の仕事はFlowで進捗や過程を確認できます。調査や制作など、継続する仕事をまとめて管理します。
変化を知らせてもらえますか？	新着メール・タスク割当・文書更新などへの通知を設定できます。都度通知、AIによる重要度判断、日次まとめなどを選べます。
仕事の手順を共有できますか？	よく使う手順をSkillとして保存し、組織内で共有できます。同じ流れの仕事で繰り返し使えます。

使い方で迷ったら、TANKA内のAIアシスタントにそのままお尋ねください。

素材一覧・利用条件

制作素材と、ブランド表記・公開時の確認事項をまとめています。

素材・条件	ご案内
ロゴ・紹介文	同梱の公式ロゴと紹介文をご利用ください。 名称は「TANKA」に統一し、ロゴの縦横比を保ってください。
製品画面・動画	同梱の連携画面は2026年9月11日時点のものです。 撮影する機能・最新の画面・動画素材は個別にご相談ください。
公式サイト・参考リンク	日英プレスリリース・米国転載・日本記事・YouTubeのリンク、 製品比較の公式資料、陳天橋氏のLinkedIn投稿の要旨を同梱。
PR表示	依頼・提供内容に応じたPR表記をお願いします。 YouTube・Xなど、該当する媒体の広告開示機能も使用します。
素材の公開・二次利用	氏名や業務情報は、公開できる範囲を確認します。 転載・広告利用の媒体、期間、編集範囲・費用は別途ご相談します。

架空のデータや構成画面を用いる場合は、その旨を表示してください。

体験提供のみの表記例：「【PR】TANKAから有料プランの無償提供を受けて紹介しています。」